

## 特別賞

### 森や木に親しもう

青南小学校 太田 真緒

私は夏休みのとても暑い日に有栖川公園に行つて来ました。その雑木林に入るとマイナスイオンが感じられてとても涼しく落ち着いた気分になりました。

私は木や森について考えて見ました。

森林は洪水を防いだり、二酸化炭素を吸って、酸素を出してくれたり、グリーンカーテンで涼しくしてくれたりします。他にも木の匂いでダニを防いだり、生き物の住む場所になったり、ダム役割もしてくれます。この様な事から、良い所がたくさんある木や森がないと大変良くないことが起きるのです。

例えば、今たくさん木が伐採されていて、温暖化が増々悪化しています。また森林が少なくなり、ダムの役割が出来なくなると洪水の事故が増えます。

このまま行くと、木がなくなり温暖化が進み、動植物が減ってしまつて生態系がこわれてしまいます。また海の南極、北極の氷が溶けることにより海水の水位が上がり、たくさん島々がなくなつてしまうと思います。北極グマが住処をなくして絶滅してしまうかもしれないのです。

従つて、私たち個人として何が出来るかと思うと、木の無駄づかいをしてはいけないと私は思います。

例えば、紙の無駄づかいをしない事や、えん筆の使い過ぎ、割りばしではなくマイはしを使う事、コピートのし過ぎを止めたりと個人で出来る事もありますが、最も大きな活動としては、木を伐採した所へ行つて木を植えるなどみんな協力して出来る事も多々あります。こういう風に日々に気かけ、無駄使いをしなければ、温暖化が進むのを少しでも抑えることが出来ると思います。森や木に親しむことで気持ち良さを感じ、森や木に親しむ事が最初の一步。遠く山へ行くのではなく、近くの雑木林や森へ日常的に行く事が日々の心がけを変える糸口に繋がって欲しいです。